

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年10月1日

石巻・大橋仮設団地集会所 「ハッピードール」

こちらの集会所では、前回、途中までだった作品の仕上がったものを持って来て、スタッフに見せてくださる方が多数いらっしゃり、うれしい限り。

手提げバッグをこしらえていた女性は、「表の部分は、おたくの材料でつくったんだけど、裏は、あとで買って来た布でつくったのよ」と、中を開いて見せてくれます。

「だいたい色のフェルトはないの？」と言われて探すも、あるのはだいたい色のピロード地のみ。聞けば、ハロウィン用の作品をつくりたいとのこと。

スタッフ、うっかりニッポン国に《ハロウィン》なるものが根付いていることを、すっかりと忘れておりました。本当にごめんなさい。

で、このピロード地をつかった、ハロウィンのかぼちゃの可愛い作品も、出来上がったという訳です。

この前、ウサギのマスコットを仲良くつくっていたおばあちゃんふたりは、今日は、手を動かすかたわら、なんともいい声で歌も口ずさみはじめ、まわりのみんなもビックリ。でも、なんか、とっても場が和んだ感じです。歌詞を聞けば、どうも「かちかち山」らしき内容の童謡のような。「あんだだちの生まれる前のうだだあ」と、笑っていらっしゃいましたが、なんて歌だったのだろうか？

作品づくりの合間に、このおふたりからは、苦竹の軍需工場で働いていたという、若かりし頃のおはなしも聞けたりして、長かった昭和の時代を、ふっと皆して思い返したりした、そんな2時間の「ハッピードール」だったのでした。

